

【3-1】日常生活支え合い実践事業

## みんなで助け合い「足の確保」

( 若狭町 )

### 基礎情報

実施地域	若狭町全域
実施主体	若狭町社会福祉協議会
所在地	若狭町井崎 40-80 社協いずみ事業所内
代表者	若狭町社会福祉協議会 会長 塚本 新一



### 平成23年度の事業概要

若狭町では、福祉サービスによる外出支援(病院・介護施設行きで車イス・ストレッチャーの方のみ)、福祉・サロンバス、タクシー助成などで町内高齢者の移動手段の確保を行っているが、利用者に一定の制限が設けられており、住民からの要望・社協アンケートで、

- ・車イスのまま移動できる車の貸出し
- ・気軽に買い物・小浜病院などへ連れて行ってくれるボランティア
- ・地区でボランティア車両の整備(事故時の保険の問題)
- ・福祉バスの停留所まで足が悪く歩けない

など数多くのニーズがあり、高齢者の自由な移動手段の確保が必要であることが判明し、集落・地区・広域等での地域支え合いによる送迎に必要なボランティア体制の整備と福祉車両(貸出し用)の整備を行った。

### 現在の活動状況

平成23年度に、民生児童委員・福祉委員・老人家庭相談員・サロン世話人などで構成する「地区福祉懇談会」やその団体代表者からなる「地区支え合い検討会議」で、福祉車両貸出し事業について説明し、利用促進についてPRを行った。また運転ボランティアの募集についても声掛けを依頼。

現在、2つの地区で買い物など運転ボランティアのについての検討をして頂いており、明倫地区では「明倫買い物クラブ」を設立し、25年3月7日から運行を開始して頂いている。

また、家族・親戚が車イスでの移動しかできない高齢者などを外出に連れて行きたいと利用されている方も少しずつ多くなっている。

### 事業の実績、成果

「地区福祉懇談会」や「地区支え合い検討会議」で意見の出た地域の福祉に関する課題の中で、最も多かった「買い物難民」の問題が、ボランティア等による送迎車両貸出しによって少しずつ改善していきつつある。

普段「ちょっと乗せてあげたいが…」と思っている方が多いが、交通事故の問題(保険)や「お礼を言われるのが恥ずかしい」など乗せてあげられなかったのが実情だった模様。しかしながら、働き盛りの壮年から、定年後の前期高齢期の男性に運転ボランティア希望の方が多いことがわかり、今後もこの年代の方が協力しやすい体制・内容を検討・拡大することで、様々な福祉課題に明るいきざしが見えるのではないかと期待している。 ※ボランティアの家族も応援してくれているとのこと…

## 工夫した点

「地区支え合い検討会議」の中で、需要がどれだけあるのか把握できないため、運転ボランティアの取り組みことに二の足を踏んでいる地区が多くある。すでに運航開始した明倫地区では、地区内の高齢者を対象に福祉関係者で、「もし運転ボランティアあれば利用したいか?」・「ボランティアとして参加したいか?」についてアンケート調査を実施。その結果相当数の利用希望者とボランティアの申し込みがあったため福祉関係者が協力し合って運行につながった。

## 事業の財源

### H23 地域支え合い体制づくり事業

地域で支える送迎サービス(外出・移動支援  
福祉車両貸出し)事業

(県補助金) 3,400,000 円

※町から社協への補助金として支出

### H24 以降は社協で予算対応

ボランティア保険や車両保険、修繕費など

※使用上の取り決めとしてガソリン満タン返し



## 課題

道路交通法の規定により、ボランティアだからといって簡単には支援を必要としている高齢者などを車に乗せることはできない。また運転ボランティアとして運賃をとることもできないこともあり、地域で取組むことは大変難しい。

明倫地区の場合は会費制で運営しているが、ガソリン代などの支援も検討する必要がある。

「もう少し小さい車の方が…」との意見もある。

## 今後の目標

「明倫買い物クラブ」のようなボランティア団体が自然発生的に増えるよう「地区福祉懇談会」や「地区支え合い検討会議」で地区の課題として検討を続けてもらう。また区長会など各方面へアピールすることによって、住民全員に理解と協力を求める。  
利用団体や個人が増えれば台数を増やす予定。

## 団体からのメッセージ

「明倫買い物クラブ」の運行開始日に立ち会いましたが、利用者が集合時間の30分以上前から待って下っているのに驚きました。また運転ボランティアの方も早くから車の掃除や点検をされており、みなさんの笑顔がとても印象的でした。また「ここぞ」とばかりに沢山買い物され車が狭くなり困るほどでした。

始まって間がないので、利用者が少ない場合など運営費の課題などがありますが、今後この活動が町中に広がることを願っています。